

セクション 1: 物質／混合物および会社情報

1.1. 製品特定名

製品形態 : 混合物
製品名 : XL-119
別名 : メチルビニルサイクリック阻害剤

1.2. 主な識別済みの物質または混合物の用途、および不適切な用途

物質／混合物の用途 : 業務用のみ

1.3. 安全データシートの作成者に関する詳細

NuSil Technology LLC
1050 Cindy Lane
Carpinteria, California 93013
USA
(805) 684-8780
regcomp@nusil.com
www.nusil.com

1.4. 緊急時の連絡先電話番号


緊急連絡先電話番号 : (703) 527-3887 CHEMTREC (米国以外)

セクション 2: 危険有害性情報

2.1. 物質または混合物の分類

GHS 分類
物理的有害危険性 : 引火性液体、区分 3
上記以外の有害性は該当なし、またはデータなし。

2.2. ラベル要素

有害性に関する絵表示 (GHS-JP) : 

注意喚起語 (GHS-JP) : 警告
危険有害性情報 (GHS-JP) : 引火性液体および蒸気 (H226)

注意書き

- [予防策] : 熱、火花、裸火、高温の表面を避けること。- 禁煙 (P210)
容器を密閉すること (P233)
容器および受器を接地すること／アースをとること (P240)
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること (P241)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具を着用すること (P280)
- [対応] : 火災が発生した場合: 適切な消火剤を使用すること (P370 + P378)
- [保管に関する注意書き] : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと (P403 + P235)
- [廃棄に関する注意書き] : 内容物／容器は現地／地域／国の規則および国際規則に従って廃棄すること (P501)

XL-119

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

2.3. その他の危険有害性

分類に影響しないその他の危険有害性：既存の眼疾患、皮膚疾患、または呼吸器系疾患がある場合、暴露によりこれが悪化するおそれがある。可燃性の蒸気が閉鎖系のヘッドスペースにたまる場合がある。

セクション 3: 組成 / 成分情報

3.1. 物質

物質または混合物の識別：物質

名称	濃度	化学式	官報公示番号		CAS 番号
			CSCL 番号	ISHL 番号	
XL-119	90%超	特記なし			68082-23-5

名称	濃度	化学式	官報公示番号		CAS 番号
			CSCL 番号	ISHL 番号	
メチルビニルシクロシロキサン		特記なし			68082-23-5

セクション 4: 応急措置

4.1. 応急措置の説明

- 一般的な応急措置：意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける（可能な場合はラベルを提示する）。
- 吸引の場合の応急措置：症状が見られる場合：屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪くなった場合、毒物センターまたは医師に連絡する。
- 皮膚接触の場合の応急措置：汚染された衣類を脱ぐ。汚染された領域を水で 15 分間以上洗い流す。汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯する。気分が悪くなった場合、毒物センターまたは医師に連絡する。
- 眼に入った場合の応急措置：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。痛み、瞬き、または発赤が続く場合には、医療機関で治療を受けること。
- 飲み込んだ場合の応急措置：口をすすぐ。無理に吐かせない。飲み込んだ場合：直ちに毒物センターまたは医師に連絡する。

4.2. 急性と遅延型の両方を含む、最も重要な症状と影響

- 症状 / 損傷：通常の使用において予測される条件下では、重大な危険有害事象の発生は見込まれない。軽度の皮膚刺激を引き起こすおそれがある。軽度の眼刺激を引き起こすおそれがある。
- 吸引の場合の症状 / 損傷：呼吸器への刺激のおそれ。
- 皮膚接触の場合の症状 / 損傷：軽度の皮膚刺激を引き起こすおそれがある。
- 眼に入った場合の症状 / 損傷：ごく軽度の刺激を引き起こすおそれがある。
- 飲み込んだ場合の症状 / 損傷：胃腸の炎症。飲み込むと危険であり、有害な影響を引き起こす可能性が高い。

4.3. 即時の医療措置および特別な治療の適応となる症状

気分が悪い場合は、医師の診察を受ける（可能な場合はラベルを提示する）。

セクション 5: 火災時の措置**5.1. 消火剤**

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、泡消火剤、霧状消火剤。
- 不適切な消火剤 : 強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。

5.2. 物質または混合物に由来する特別な危険

- 火災危険性 : 引火性の液体および蒸気。
- 爆発危険性 : 可燃性／爆発性の蒸気・空気の混合物が発生するおそれがある。
- 反応性 : 通常の条件では有害な反応は発生しない。

5.3. 消火時の注意事項

- 火災に関する予防措置 : 化学物質による火災の消火は慎重に行うこと。
- 消火時の指示 : 露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。大火災および大量の場合: 退避する。爆発の危険があるので、十分に距離をとった位置から消火を行う。
- 消火時の防護 : 呼吸用保護具を含む適切な防護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。
- その他の情報 : 消火活動の際の流出物が排水設備や水路に入らないようにすること。

セクション 6: 漏出時の措置**6.1. 人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置**

- 一般的な措置 : 静電荷の発生を避けるために特別な注意を払うこと。熱、火花、裸火、高温の表面を避けること。- 禁煙。製品が環境中に拡散しないようにすること。眼や皮膚への接触を避け、蒸気やミストを吸引しないようにすること。

6.1.1. 緊急救援隊以外の人員

- 防護具 : 適切な個人用保護具(PPE)を使用すること。
- 緊急措置 : 不必要な人員を退避させる。

6.1.2. 緊急対応にあたる人員

- 防護具 : 洗浄担当のスタッフには適切な防護具を装着させること。
- 緊急措置 : 漏出した区域の換気を行う。

6.2. 環境に対する注意事項

- 下水および公用水への流入を防止する。環境への放出を避けること。

6.3. 封じ込めおよび洗浄の方法と材料

- 封じ込め : 漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や河川への流入を防止する。
- 洗浄方法 : 漏出した物質は機械的な防壁で封じ込めることができる。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。不活性物質を用いて漏出した物質の吸収および／または封じ込めを行い、適切な容器に入れる。可燃性の物質(おがくずまたはセルロース系の物質)で吸収してはならない。漏出の発生時には、監督官庁に通報すること。

6.4. 他のセクションの参照事項

- セクション 8「暴露防止および保護措置」を参照のこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管**7.1. 安全な取扱いに関する注意事項**

- 加工時の追加的有害危険性 : 空の容器は、可燃性の残留蒸気が内部に残っているおそれがあるので、取扱いは慎重にする。高温の有機化合物の蒸気またはミストは、空気と混ざると自然発火しやすくなるという性質があり、発火温度よりも低い温度で発火するおそれがある。発火温度は、蒸気量が増加した場合や蒸気と空気の接触時間が長くなった場合、また気圧の変化により低くなる。高温での加工(特に真空状態)において、発火温度が低下する場合がある。容器に穴を開けたり、焼却処分しないこと。可燃性の蒸気が閉鎖系のヘッドスペースにたまる場合がある。
- 安全な取扱いに関する注意事項 : 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。静電放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生する機器は使用しないこと。熱、火花、裸火、高温の表面を避けること。- 禁煙。蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないこと。
- 衛生対策 : 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹸と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。汚染された作業衣は、作業場から出さないこと。取扱い後は手および前腕部をよく洗うこと。本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

7.2. 安全な保管の条件(混触危険性を含む)

- 技術的対策 : 静電気の発生を防止するため、適切な手順で接地を行うこと。容器および受器を接地すること/アースをとること。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- 保管条件 : 乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。使用していない場合は、容器を閉めておくこと。直射日光やその他の熱源を避けて保管すること。混触危険物質を避けて保管すること。発火源。
- 混触危険物質 : 強酸。強塩基。強力な酸化剤。

7.3. 特定の最終用途

業務用のみ。

セクション 8: 暴露防止／保護措置**8.1. 管理基準**

- 適切な設備対策 : 暴露の危険性のある区域から迅速に移動できる場所に、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。静電気の発生を防止するため、適切な手順で接地を行うこと。防爆型の機器を使用すること。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国／地域の規則を確実に遵守すること。可燃性のガス／蒸気が放出されるおそれがある場合には、ガス検出器を使用すること。
- 呼吸器系の保護 : 換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。
- 手の保護 : 耐化学物質性の保護手袋を着用すること。
- 眼の保護 : 化学物質用のゴーグルまたは安全眼鏡。
- 皮膚および身体の保護 : 適切な保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。
飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない

石鹼と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。汚染された作業衣は、作業場から出さないこと。取扱い後は手および前腕部をよく洗うこと。

本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

8.2. 暴露防止

適切な設備対策

: 暴露の危険性のある区域から迅速に移動できる場所に、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。静電気の発生を防止するため、適切な手順で接地を行うこと。防爆型の機器を使用すること。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国/地域の規則を確実に遵守すること。可燃性のガス/蒸気が放出されるおそれがある場合には、ガス検出器を使用すること。

個人用保護具:

: 保護衣。防護ゴーグル。手袋。換気が不十分な場合:呼吸用保護具を着用。



保護衣の素材

: 耐化学物質性の素材および繊維。耐火/防炎/難燃性の衣服を着用すること。

手の保護

: 耐化学物質性の保護手袋を着用すること。

眼の保護

: 化学物質用のゴーグルまたは安全眼鏡。

皮膚および身体の保護

: 適切な保護衣を着用すること。

呼吸器系の保護

: 換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。

熱危険性の防護

: 適切な保護衣を着用すること。

その他の情報

: 本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

セクション 9: 物理的および化学的特性

9.1. 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態	: 液体
外観	: 透明。
色	: データなし
におい	: 微弱。
においの閾値	: データなし
pH	: データなし
相対蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 54°C(129.2°F)
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし

XL-119

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°C)	: データなし
比重	: 0.99
溶解度	: データなし
オクタノール／水分配係数(Log Pow)	: データなし
オクタノール／水分配係数(Log Kow)	: データなし
動粘度	: データなし
動粘性係数	: データなし
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし
爆発限界	: 該当なし

9.2. その他の情報

追加情報なし

セクション 10: 安定性および反応性

10.1. 反応性

通常の条件では有害な反応は発生しない。

10.2. 化学的安定性

引火性の液体および蒸気。可燃性／爆発性の蒸気・空気の混合物が発生するおそれがある。

10.3. 有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

10.4. 避けるべき条件

直射日光。極端な高温または低温。裸火。過熱。熱。火花。混触危険物質。

10.5. 混触危険物質

強酸。強塩基。強力な酸化剤。

10.6. 危険有害な分解生成物

炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。可燃性のガスや刺激性の煙が発生するおそれがある。ケイ素酸化物。

セクション 11: 毒性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

急性毒性	: 未分類
皮膚腐食性／刺激性	: 未分類
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	: 未分類
呼吸器感受性または皮膚感受性	: 未分類
生殖細胞変異原性	: 未分類
発がん性	: 未分類
生殖毒性	: 未分類
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 未分類
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 未分類
吸引性呼吸器有害性	: 未分類

XL-119

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

潜在的なヒトの健康に対する有害作用および症状 : 未分類

セクション 12: 生態学的情報

12.1. 毒性

生態系 - 水 : 未分類

12.2. 残留性および分解性

追加情報なし

12.3. 生物蓄積性の可能性

追加情報なし

12.4. 土壌中の移動性

追加情報なし

12.5. その他の有害な影響

その他の情報 : 環境への放出を避けること。

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

生態系 - 廃棄物質 : 環境への放出を避けること。

推奨される廃棄方法 : 地域/地区/国内/国際規則に従って、内容物/容器を廃棄すること。

その他の情報 : 空の容器は、可燃性の残留蒸気が内部に残っているおそれがあるので、取扱いは慎重にする。

生態系 - 廃棄物質 : 環境への放出を避けること。

セクション 14: 輸送上の注意

ADR/RID/ADNR/IMDG/ICAO/IATA に準拠

国際規制

海上輸送の規制情報 : IMO の規定を遵守。

UN 番号 : 1993

国連正式輸送品名 : 引火性液体、N.O.S(メチルビニルシクロシロキサン)

クラス(UN) : 3

梱包・包装等級(UN) : III

航空輸送の規制情報 : ICAO/IATA の規定を遵守。

UN 番号 : 1993

国連正式輸送品名 : 引火性液体、N.O.S(メチルビニルシクロシロキサン)

クラス(UN) : 3

梱包・包装等級(UN) : III

日本における規制

海上輸送の規制情報 : 船舶安全法の規定を遵守。

UN 番号 : 1993

国連正式輸送品名 : 引火性液体、N.O.S(メチルビニルシクロシロキサン)

クラス(UN) : 3

梱包・包装等級(UN) : III

XL-119

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

航空輸送の規制情報	: 航空法の規定を遵守。
UN 番号	: 1993
国連正式輸送品名	: 引火性液体、N.O.S(メチルビニルシクロシロキサン)
クラス(UN)	: 3
梱包・包装等級(UN)	: III
MFAG 番号	: 127
その他の情報	: 補足情報なし

セクション 15: 適用法令

アジア太平洋地域の規制リスト

船舶安全法	: 引火性液体
航空法	: 引火性液体
港則法	: 引火性液体

メチルビニルシクロシロキサン(68082-23-5)

オーストラリア化学物質インベントリー(AICS)に記載
中国現有化学物質名録(IECSC)に記載
日本の化審法既存および新規化学物質(ENCS)一覧に記載
韓国の既存化学物質目録(ECL)に記載
ニュージーランド化学物質台帳(NZIoC)に記載
フィリピン化学品および化学物質インベントリー(PICCS)に記載

セクション 16: その他の情報

変更の明示	: 2013 年 08 月 16 日
その他の情報	: 本文書は日本の危険有害性情報の伝達方法の基準である JIS Z 7253:2012 における SDS(安全データシート)の要件に準拠して作成された。

SDS 日本 JIS Z 7253:2012

本書に記載の情報は本安全データシートの日付の時点で正確なものであり、誠実さをもって提供されるものである。本文書に記載の情報および意見の使用、また製品の使用条件は、NuSil Technology の管理範囲外であり、製品の安全な使用条件に関する判断の義務は使用者が負うものとする。